

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

環境部局

事例5. 長崎県 気候変動適応セミナー(～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～)

- 長崎県気候変動適応センターが、主に高齢者に関わる方(介護福祉関係)を対象に、気候変動と熱中症の関係、県内の発生状況、熱中症の予防と対策方法についてセミナーを開催。

長崎県気候変動適応セミナー

～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～

13:00

主催者代表あいさつ
長崎県気候変動適応センター長
本多 雅幸

13:05

気候変動と私たちの暮らしへの影響
国立環境研究所 気候変動適応センター
気候変動影響観測研究室長
岡 和孝氏

13:25

長崎県の熱中症発生状況と地域の特徴
長崎県気候変動適応センター

13:40

熱中症の予防と対策
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部
九州第一支店 長崎出張所 課長補佐
森岡 剛氏

日時

令和6年 7月11日(木) 13:00～14:20

会場

Web開催(Webex)
サテライト会場(県庁3階 317会議室)
※サテライト会場は先着18人までご参加いただけます。
申込時にサテライト会場での参加を希望してください。
サテライト会場はモニターでの視聴となります。

対象

高齢者に関わる方(どなたでも参加できます)

申込方法

下記アドレス又は右のQRコードから申込みページへアクセス。必要事項を入力後、URLを返信しますので、当日12:30以降にご利用ください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4718

参加費

無料

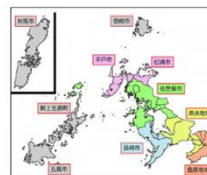
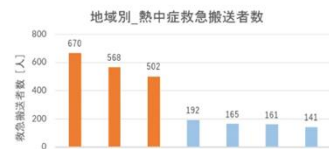
セミナーに関するお問合せ

長崎県気候変動適応センター TEL 0957-48-7560 (担当/企画・環境科 前田・船越)
(長崎県環境保健研究センター内) メールアドレス nagasaki-iccc@pref.nagasaki.lg.jp
主催：長崎県

チラシ

※令和6年度のヒアリングによる

地域別の熱中症救急搬送者数



○実数：多
→人口規模が大きい地域

○リスク：高
→高齢者が多い地域

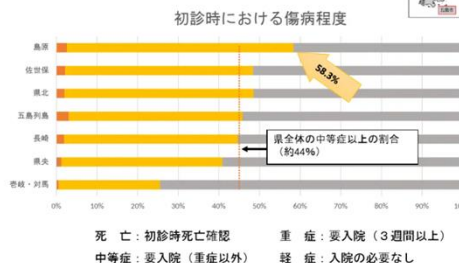


グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

傷病程度からみた地域の特徴①

○島原地域では入院(中等症以上)となるケースが多く特に注意が必要※

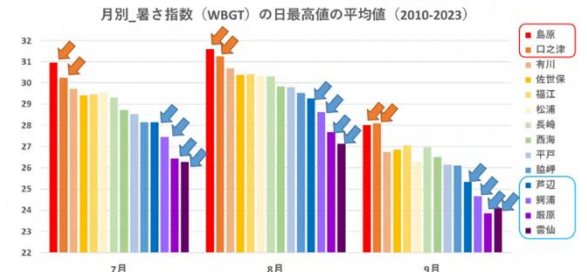
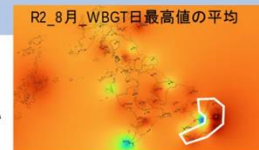
※R2-R4のデータです。



グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

県内の暑さの特徴

- 島原地域(島原市、南島原市)が特に暑い!
- 壱岐・対馬・雲仙岳は比較的涼しい傾向

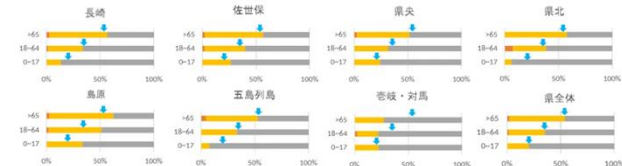


出典 熱中症予防情報サイト(環境省)のWBGTデータから当センターが作成

傷病程度からみた地域の特徴②

○65歳以上で見ると、半数以上が中等症(要入院)以上!

※壱岐・対馬除く



図中の矢印(↓)は県全体の平均の位置を示す。

グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

都市部など人口の多いところでは、熱中症による救急搬送者数の実数は多いものの高齢者の多いところの割合が高いということを改めてセミナーで参加者に向けて発表。特に島原地域が暑く、またデータにも特徴があることから、この地域にて重点的に講演・研修を開催【事例3-12】。普及・啓発資料も作成、配布した。